

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	水害等の災害時、備蓄品の食料等、職員が把握できていないため緊急時の備えができていない。住宅密集地のため道路が狭く消防車が施設の前まで入って来れない。	全ての職員に緊急時対応ができるように環境を整える。	食料品等の備蓄品は一覧表を作成して職員に周知する。災害時の対策を消防署と相談して緊急時に備える。	12ヶ月
2	4	以前は3事業所合同で運営推進会議を実施していたがコロナ渦のため施設への入室制限があり、たのしい家名西の職員と入居者様のみでの開催となっている。	ご家族様や近隣住民にも参加して頂き、外部の方からの意見も取り入れ入居者様へのサービス向上につなげる。	コロナ渦が明け次第たのしい家栄生と合同での開催をする。開催時は外部の方の参加を促し意見を頂く。	12ヶ月
3	26	6ヶ月に1度の介護計画作成時にしかモニタリングを行っておらず、変化に合わせた介護サービスの提供ができていない。	6ヶ月の区切りでのプラン作成以外にも変化があれば適時ケアプラン作成を行う。	入居者様の変化には常時介護職員がリーダーや計画作成担当に報告でき、会議以外でも情報が把握できるようにする。	12ヶ月
4	20	ご近所への外出も減っており近隣との関係も薄くなってきており、入居者様に対しても均一なサービスになっている。	一人一人の入居者の趣味や得意分野を活かしたサービスを提供する。	施設事務所に閲覧してある、入居者様情報に興味や特技も記入し職員に周知して日常生活に活かす。	6ヶ月
5	10	コロナ渦のためタブレット使用の面会となり、ご家族様への連絡も月1回の定期のお便りのみとなっている。	定期の決まった文章だけではなく一人一人の入居者様に合わせて内容を記入する。	ご家族様へのお便りには毎月決まった内容以外、特記事項も記載。様子が分かる写真を同封する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。